

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

心不全患者における Low simple GDMT score および歩行速度低下が生命予後に与える影響

研究期間：2025 年 5 月 1 日～2025 年 8 月 31 日

対象材料：

☐ 病理材料（対象臓器名： ）

☐ 生検材料（対象臓器名 ）

☐ 血液材料

☐ 遊離細胞

■ その他（診療録の情報 ）

上記材料の採取期間： 2023 年 3 月 ～ 2024 年 12 月

意義：

心不全患者の予後改善に寄与する薬物治療として Fantastic 4（ β 遮断薬、ARNI、SGLT2 阻害薬、MRA）が推奨されており、先行研究では Fantastic 4 の導入状況を点数化した Low simple GDMT score（4 点以下）が 1 年以内の不良な予後に影響することが報告されている。また、歩行速度も同様に予後規定因子であり、さらに心臓リハビリテーションにおける主要なアウトカムの 1 つとされている。しかし、Low simple GDMT score および歩行速度低下の併存が生命予後に与える影響は明らかにされておらず、その検討は予後予測に資するのみならず、心臓リハビリテーションにおける介入手段の検討にも有用であると考えられる。

目的：

心不全患者における Low simple GDMT score および歩行速度低下が生命予後に与える影響を明らかにすること。

方法：

当院の患者データベースおよび電子カルテより後方視的に通常診療の範囲内で得られる患者基本情報や医学的情報、治療経過、リハビリテーション経過、退院時の身体機能評価、退院時の内服薬、予後イベントの有無（全死因死亡）を診療録より収集する。

個人情報の取り扱い：

患者様の個人情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用する。また、研究成果を理学療法関連学会で発表するが、患者様個人を特定できる個人情報は含まない。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750-8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 リハビリテーション部 月城 一志

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838